すべり・つまずき危険場所チェックリスト

項 目	対策案	該当の有無
屋外		
通路、ステップ、火災避難経路の異常（落葉の堆積、湿った雑草、苔、泥等）	• 掃除のための作業計画を立てる、よく使われるルートを優先する。 • 通路を覆う植物、木を刈り込むことを検討する。	
通路が冬季に凍結することがあるか。	• 代替の安全なルートを検討する。 • 気候条件を監視し、冬季の措置（滑止め砂など）を取る。	
見通しの悪い通路の水平度に変化はないか。	• 危険を目立たせるー照明の改善、コントラストのある色彩（滑らない塗料など）	
歩道の舗装に穴、凹凸、平坦でない箇所がないか。	• 簡単に移動できない臨時対策として柵（バリアー）を設置する。 • 危険を目立たせるー臨時対策として照明を改善、欠陥部分が目立つように着色 • 保全：穴を埋め、再舗装し、割れた敷石の交換	
火災避難経路は、濡れたとき滑らないか。	• 把持力（グリップ）を改善するー滑り防止の塗装/桟、滑り防止材料（つまずきのない）の採用を検討	
出入り口		
建物の入り口と玄関の間のマットが濡れたときに滑らないか。	• 把持力を改善するーマットの延長、外部舗装、滑り防止塗装/桟、滑り防止材料（つまずきのない）の採用を検討	
入り口		
雨などにより床が濡れないか。それにより滑りやすくならないか。	• 水が入るのを防ぐー入り口に張り出し屋根の取付け、外部排水溝の設置、戸をキチンと閉める。 • 水の拡散を防ぐ－靴の水除去のための大きな、吸収性のあるマットを敷く。 • 水を速やかに除去－掃除方法の検討、乾いたモップを準備、乾燥ヒーターの採用を検討 • 把持力改善－滑り抵抗の大きな床材（滑り難い床）を検討	
つまずき危険はないかー床上のケーブル、配達物、めくれたマット、その他のもの	• 整理整頓の実施－ケーブルを片付ける、配達物収納場所を確保する、箱などを取り払う、めくれを直しまたは取り替える。	
廊下および事務所		
床面に何か変化があるかー傾斜、小さな段差、床材の一部箇所での変更など。	• 危険箇所を目立たせる－照明の改善、傾斜/段差部に目立つ色を使用、床材の変更を目立たせる。	
床面は、汚れが見つけやすいように平滑になっているか（例えば、液体、食べ物とその包装紙、埃、ポリエチレン、凝固物など）。	• 床の汚れをなくすーゴミ箱を配置、漏れを止める、容器に蓋をする、作業場所に通じる戸をしめる。 • 広がりを防ぐ－植物、機械、しずく受皿、冷水器の近くにしずく受け皿を置く。 • 汚れを速やかに除去－掃除システムを見直す、こぼれによる点の汚染除去、乾いたモップによる広い湿った箇所の掃除、乾燥した汚れの真空またはブラシによる除去	
タイル、床張りが剥がれ、めくれたりしていないか。穴があいてないか。	• 補修が必要－剥がれを直す、必要なら交換する、穴を埋める、割れたタイルは交換する。	
滑り止め塗装、滑り止めテープが磨耗して平	• 補修が必要－破損し、磨耗したものは交換する。	

滑になり、または破損していないか。	• 床張りの更新を検討する	
作業ステーションの周囲、廊下、通路につまずき危険はないかー床上のケーブル、箱類、配達物、機材類、その他。	• 整理整頓が必要ー通路に物を置かない、片付ける、ケーブルを覆う、収納箇所の確保、箱類および機材は取り払う。	
照明が暗すぎて床面がよく見えないことがないか。	• 照明の改善ー電球、蛍光管の交換、照明器具の増設	
階段、傾斜路		
踏み面の端が見にくく、丸くなっていたり、破損していたり、滑りやすくないか。	• 踏み面の端がはっきり見えるかどうか点検する。 • 踏み面の端を目立つようにし、端が直角で滑りにくい仕上げにする。 • 丸い端を交換できないときは、滑り防止ラップをまく。	
手すりが設けられているか。掴みやすく、使いやすいか。	• 少なくとも1つの手すりを設ける、階段の幅が1m以上の場合は両側に、2mを超える場合は、中央にも設ける • 手すりの高さは 900mm 以上 1000mm 以下とし、傾斜角と平行に設ける。 • 着地箇所には手すりにガードを取り付け、その高さは 1100mm とする。 • 手すりの形状、寸法、壁からの距離は、建築規則および英国規格による。 (訳註:日本では、建築基準法施行規則による。)	
蹴上げ、踏み面の寸法は均等か	• 問題箇所を目立たせるー注意書き等 • 蹴上げ、踏み面を等寸法に修正する。	
踏み面が滑りやすくないか。	• 汚れを除去するために定期的に完全に掃除する。 • 階段表面を滑り防止材料に変更する。	
作業場の周りまたは中にある傾斜路は見にくくないか。	• 明暗のはっきりした色で傾斜路を目立たせ、照明の程度を点検する。 • 把持力を改善ー滑り防止材料への変更を検討する。 • 傾斜路にも手すりを設けるよう検討する。	
作業場所、作業プラットフォーム、厨房、倉庫、保管室、保冷庫		
作業工程の一部が汚れ、滑りやすくなっていないか。 • 作業者ー漏出物、過剰にものを入れた容器、廃棄物、廃棄ごみの床への放置 • 機械ー漏洩、塗料はみ出し、こぼれ、副産物 • 工程ーこぼれ、漏洩、副産物	• 床が汚染しないようにするー作業方法の変更、作業場所のレイアウトの改善、ゴミ箱の備え付け、粉じんの吸引、容器に蓋を設ける、容器内の量を減らす、機械からの(油)の漏洩をなくす。 • 汚染の広がりを防ぐーしずく受け皿を使用、しぶき飛散防止のスクリーン、床の排水を改良、高いふちの流し台、機械の周囲に囲い • 速やかに汚染を除去するーこぼれによる点の汚染除去、広い場所の乾いたモップによる除去、乾燥した汚染物の吸引またはブラシによる除去 • 把持力の改善ー滑り防止材料、滑り防止履物の検討	
凝固物が床に生じてないか。天井配管から凝固物が床に落ちてきてないか。そのため床が滑りやすくなっていないか。	• 換気装置を改善ー吸引装置を使用 • 天井配管を断熱材で囲う。 • 把持力を改善ー滑り防止床材への変更、滑り防止履物の着用を検討	
排水不良のため液体が床にたまらないか。	• 床の排水設備を改善する	
保冷庫ー床に氷ができてないか。床が滑らないか。	• 氷を除去 • 戸の補修ー戸が閉まるかどうか点検し確実の密閉ーシールを交換、戸とフレームの修理 • 湿気を防ぐー自動ドア、カーテン、湿気の制御 • 滑り防止履物の着用を検討	

指定通路が使用できずまたはブロックされていないか。	• 作業場所を通じてきれいで、平滑な通路を設ける。 • 整理整頓の実施－ケーブルなどを片付ける、追加の収納庫、散乱物、箱類、機材などを取り払う、パレットを安全に保管する。	
通路が平滑でなく、穴があいていたり、タイルがなくなっていたりしていないか。	• 暫定措置として容易に動かせない柵を設ける。 • 危険を目立たせる－照明を改善、暫定措置として目立つ色彩で欠陥箇所を示す。 • 補修が必要－穴を埋める、床の欠陥箇所を交換する。	
カーペットの端がまくれ上がったり、穴があいたりしていないか。	● まくれたり、緩んだりした端を下にしてしっかり固定する。 ● 補修が必要－カーペットの全部または破損した部分を交換する。	
タイル、床材の端がはがれ、まくれてないか。	● まくれたり、はがれた端を下にしてしっかり固定する。 ● 補修が必要－床材の全部または破損した部分を交換する。	
作業場所につまずき危険はないか－床上のケーブル、箱類、配達品、その他。	● 「見たら、片付ける」という習慣づけをする。 ● 整理整頓が必要－通路はいつもきれいに、キチンとしておく、ケーブル覆いを使用、追加の保管場所を確保、箱類、機材を片付ける。	
照明が暗くて見えにくくないか。光が床を照らして眩しくないか。	● 照明を改善－電球、蛍光管を交換、照明の角度を調節、追加の照明 ● 眩しさを除去－床の表面が光るのをなくす。	
便所、浴室、シャワー室		
水が床に入ってこないか。床が濡れたり滑りやすくないか。	● 水が床に入るのを防ぐ－シャワーカーテン/スクリーンを改善、流し台の近くに十分なハンドドライヤーをおく。 ● 水を速やかに除去する－定期的なモニターの実施、点の清掃、ドライモップによる面の清掃の実施 ● 必要に応じて床排水の改善 ● 把持力の改善－滑り防止床材への変更を検討	
蛇口、配管に水漏れがないか。	● 汚れが広がるのを防止する－暫定措置としてしずく受けを設ける。 ● 補修が必要－漏れ、蛇口を修理	
掃除		
こぼれたものがしばらくの間床の上に残っていることはないか。	● 「見たら、片付ける」という習慣づけをする。 ● こぼれたものの掃除用具を常に使えるようにしておく ● 掃除の仕組み、体制（時期等を含む）を見直し、改善する。 ● ロービング掃除機の導入を検討する。	
小さなこぼれもモップで掃除しているか。	● 吸収布、紙タオルでふき取る。 ● 関係者の教育訓練と監督を実施 ● こぼれたものの掃除用具を常に使えるようにしておく。	
モップで掃除した直後、または濡れている通路を人が通行することがあるか。濡れている床は滑りやすくないか。	● 濡れている通路は通行止めにする。 ● 乾く時間を短縮する－乾いたきれいな専用のモップを使用	
警告標識が乾いたあとでもそのままになっていないか。	● 掃除が終了して床が乾いたら、円錐コーンなどの標識をただちに片付ける。 ● 教育訓練し、監督を行う。	
床が掃除されたあとでも、汚れているように見えないか。	● 掃除に係るメーカー、販売者の取扱説明書に従っているかどうか検討する。 ● 掃除の方法を見直す ● 新たな掃除方法について教育訓練し、監督を行う。	
掃除し、乾燥したあとでも滑ることがないか。	● 堆積した脂性物を完全に掃除する。 ● 掃除方法を見直す。 ● 新たな掃除方法について教育訓練し、監督を行う。	

掃除用具のリード線が通路を横切ったりして、つまづきの危険はないか。	● ケーブルを巻き上げておく ● 電源箇所を変える－追加の差込ソケットを備える、直近のソケットを使用する。 ● バッテリー式掃除機の使用を検討する。 ● 新たな掃除方法について教育訓練し、監督を行う。	
ゴミ袋や掃除用具によるつまづき危険はないか。	● つまずき危険とこれらへの対処方法について、教育訓練し、監督を行う。	
仕事		
仕事中、滑りやつまづき危険を認識することができるか－視界をさえぎるような姿勢で物を運ぶ、バランスを崩すまたは急ぐ	● 人力による取扱い運搬方法を見直す。 ● 作業行動を見直す。	